

第60回国民体育大会剣道競技結果

第2試合場			
確	本部記録	戦評	記録
認	宮本	矢部	米澤

13

(成年男子)

平成17年10月25日(火)		第14試合	1回戦				2回戦	3回戦	4回戦	準決勝戦	3位決定戦	決勝戦
主審	都道府県	順	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝者数	総本数	勝	敗	
長内淳介	高知	氏名	尾崎	宇賀	小笠原	恒石	渡辺	1	3	×		
		試合	1 反相 2 則殺 3 回回	1 ム反相 2 則殺 3 1回回	1 反相 2 コ則殺 3 回回	1 反相 2 則殺 3 回回	1 反相 2 則殺 3 回回					
副審	島根	経過	3 反相 2 ド則殺 1 ム1回回	3 延長反相 2 則殺 1 回回	3 コ反相 2 則殺 1 ム回回	3 一本勝反相 2 則殺 1 コ回回	3 反相 2 則殺 1 ツ回回	3	6			
田中早苗 牧瀬憲保		氏名	小村健	恩田	若槻	釜田	小村美					
時間			1分54秒	15分06秒	4分33秒	5分00秒	5分00秒					

戦評
1回戦、高知対島根。先鋒戦は、島根小村健の素早い攻めで高知尾崎を崩し、小手からの面と引き胴で二本勝。次鋒戦は、お互い慎重な攻め合いで技が決まらず延長に入った。厳しい攻め合いが続いたが、島根恩田が下がったところへ高知宇賀が面に跳び込んで試合を五分にした。中堅戦は、高知小笠原が小手を打って中間になったところに島根若槻が、引き面を決めた。高知小笠原も負けじと相手が間合に入ろうとするところに出頭小手を決めた。そして、勝負となったが、島根若槻に同じような小手を決められ高知は惜しい星を落とした。副将戦は、島根釜田が相手が面を打って来たところに出頭小手を決め王手をかける。後がなくなった高知恒石は果敢に打ち込むが、島根釜田の剣先を崩せず勝敗が決まった。大将戦は気力十分の試合で島根小村美が諸手突きを取れば、高知渡辺は見事な面を決めた。見応えのある試合内容だった。